

2016年1月8日

2016年5月期第2四半期決算補足説明資料



1. 2016年5月期第2四半期実績

- ◆ 1-1. 事業環境
- ◆ 1-2. 経営成績
- ◆ 1-3. (前期比)売上・営業利益
- ◆ 1-4. (期初計画比)売上・営業利益
- ◆ 1-5. 通期の業績予想の修正
- ◆ 1-6. 各セグメントの取り組み

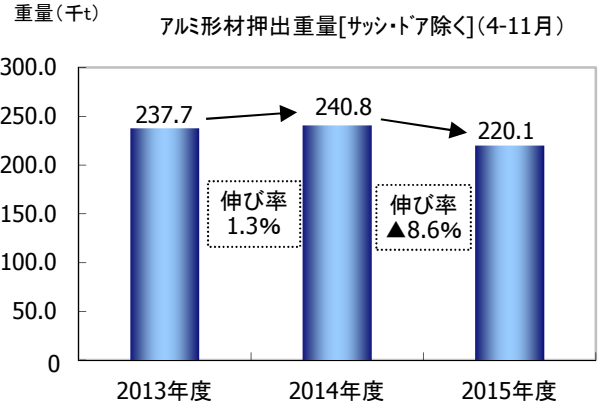
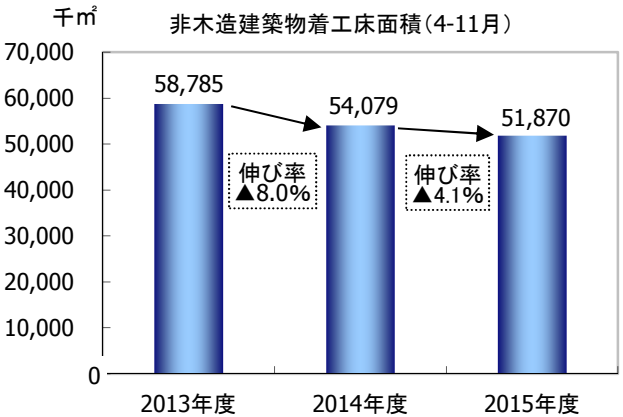
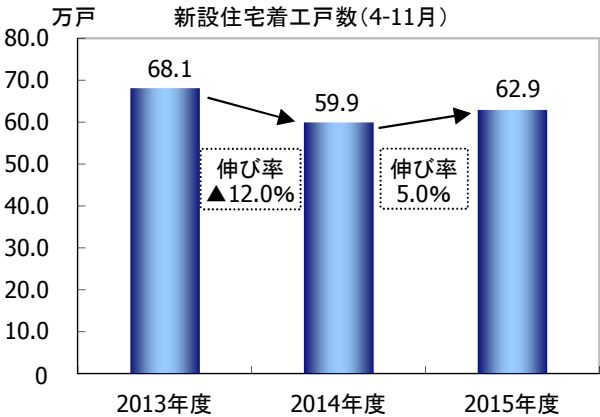
2. トピックス

- ◆ 2-1. 三協アルミ 「アルジオ (ALGEO)」 10/30発売
- ◆ 2-2. 三協アルミ 「エネマネハウス2015」 受賞作品に当社製品採用
- ◆ 2-3. 三協アルミ 「ARM-S@NAV」 中部地方発明表彰「富山県知事賞」 受賞
- ◆ 2-4. 三協アルミ 「エクステリアデザインコンテスト2015」 開催
- ◆ 2-5. 三協マテリアル 植物工場ラック「アルファーム」 10/30発売
- ◆ 2-6. タテヤマアドバンス 「サイン&ディスプレイショウ」に出展
- ◆ 2-7. 国際事業 「三協立山アロイタイランド」 新工場竣工式
- ◆ 2-8. 国際事業 タイメタルを通じて出展「Baan Lae Suan Fair 2015」
- ◆ 2-9. 三協アルミ 小学生を対象としたイベントの開催 (女性推進WGの活動)
- ◆ 2-10. 三協アルミ 大学生を対象としたイベントの開催 (女性推進WGの活動)
- ◆ 2-11. 三協立山 「ツインリーフの森づくり」 植樹活動を実施

◇市場環境

市場環境	2013年度	2014年度	2015年度
新設住宅着工戸数(4月-11月) ※建材事業（住宅）指標	68.1万戸	59.9万戸 (前年比12.0%減)	62.9万戸 (前年比5.0%増)
非木造建築物着工床面積(4月-11月) ※建材事業（ビル）指標	58,785千㎡	54,079千㎡ (前年比8.0%減)	51,870千㎡ (前年比4.1%減)
アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く] (4月-11月) ※マテリアル事業指標	237.7千 t	240.8千 t (前年比1.3%増)	220.1千 t (前年比8.6%減)
アルミ地金[日経平均] (4月-11月)	238.7円／kg	283.8円／kg (前年比18.9%増)	265.1円／kg (前年比6.6%減)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善がみられ、緩やかな回復基調で推移した。一方、国内の個人消費の本格回復には力強さを欠き、中国や新興国の経済減速の影響などから、依然として先行きの不透明感が高い状況が続いている。	
建材事業	住宅新築市場は、消費増税前駆け込み需要の反動減から持ち直し、前年同期比で増加した。ビル新築市場は、非木造着工床面積が前年同期比で減少するなど、弱含みとなった。
マテリアル事業	輸送・一般機械分野などの需要が好調に推移したが、電気機器分野などの需要が落ち込んだことなどにより、全体としては弱含みとなった。
商業施設事業	コンビニエンスストア、家電量販店などの、小売業の新店投資、改装投資が抑制傾向となった。
国際事業	タイで気候要因による消費の低迷などにより景気が減速した。欧州では景気が停滞し、また輸送分野などでの競争が激化した。
アルミ地金	2014年12月以降、アルミ地金市況の低下が継続。



1-2. 2016年5月期2Q 経営成績

(単位：億円)

	2015年5月期 第2四半期実績	2016年5月期 期初計画	2016年5月期 第2四半期実績	前年同期比		期初計画比	
				増減	%	増減	%
売上高	1,428	1,750	1,679	250	17.6%	▲ 70	-4.0%
売上総利益	355	-	353	▲ 2	-0.7%	-	-
売上総利益率	24.9%	-	21.0%	-	-3.9p	-	-
営業利益	66	35	22	▲ 44	-66.1%	▲ 12	-35.3%
営業利益率	4.7%	2.0%	1.3%	-	-3.4p	-	-0.8p
経常利益	62	30	16	▲ 45	-73.2%	▲ 13	-44.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	48	10	0	▲ 47	-98.0%	▲ 9	-90.4%

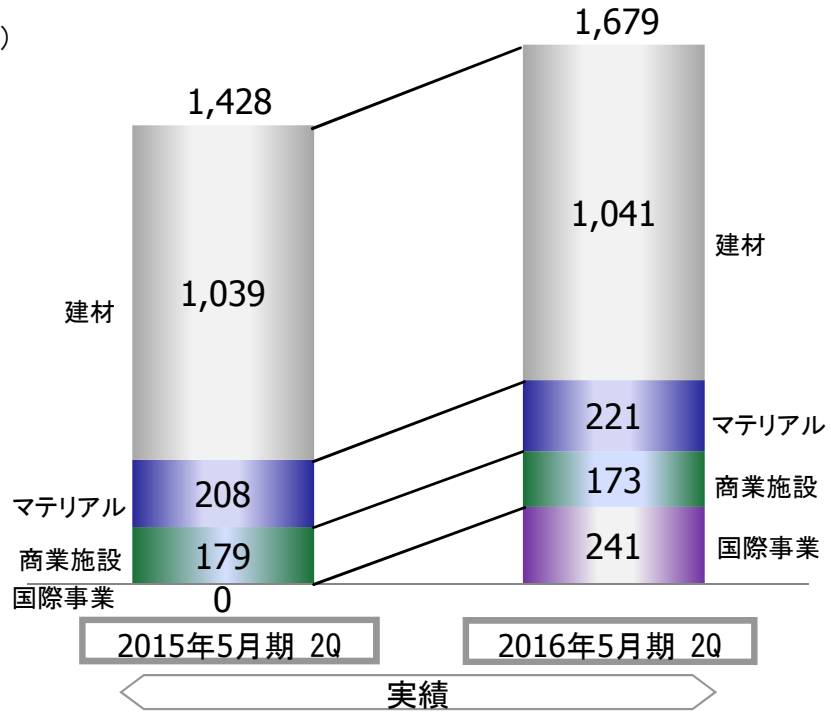
※金額・率は切り捨て表示

＜売上高＞ 建材事業、マテリアル事業は増収となったが、商業施設事業は減収となった。また、本年度から国際事業セグメントが加わったことにより、前年同期比17.6%増となった。	
建材事業	前年度の雪害対応の売上反動減の影響があったものの、新設住宅着工戸数の持ち直しが見られたことなどにより、前年同期比0.2%増となった。
マテリアル事業	輸送・一般機械分野の需要取り込みや、平成26年9月に子会社化した三協サーモテック株式会社の連結売上などにより、前年同期比6.5%増となった。
商業施設事業	小売業の新規出店・改装需要に対する提案営業による受注拡大などに注力したが、コンビニエンスストアや家電量販店の投資抑制傾向による需要減少などにより、前年同期比3.5%減となった。
国際事業	輸送分野の需要や型材分野の需要取り込みを推し進めたが、欧州の景気停滞やタイにおける景気減速の影響などにより、売上高241億79百万円となった。
＜営業利益＞ 建材事業において高い水準のアルミ地金価格が影響したことや、国際事業において欧州およびタイ市場の減速などが大きく影響したことにより、前年同期比66.1%減となった。	

1-3. 2016年5月期2Q (前期比) 売上・営業利益

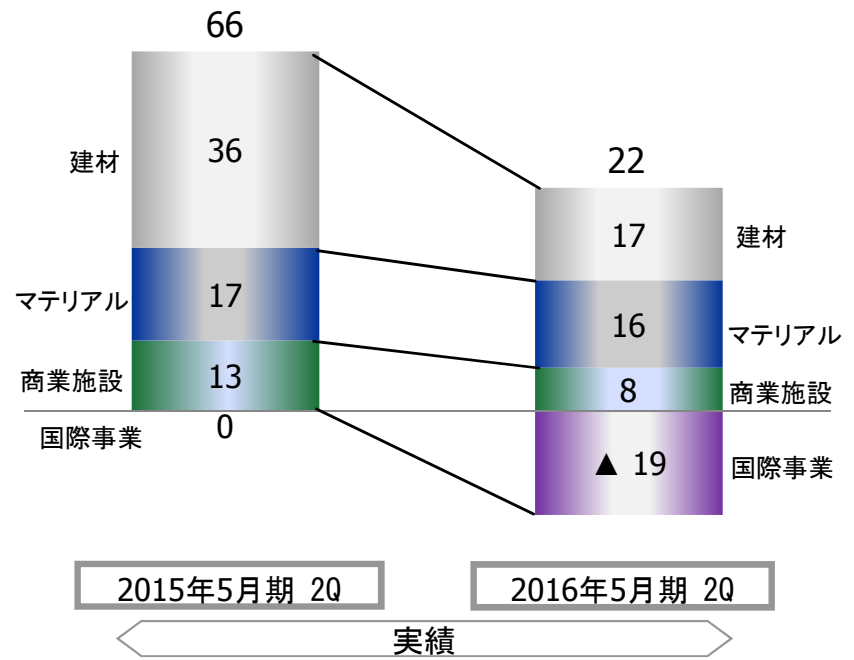
■売上高

(単位：億円)

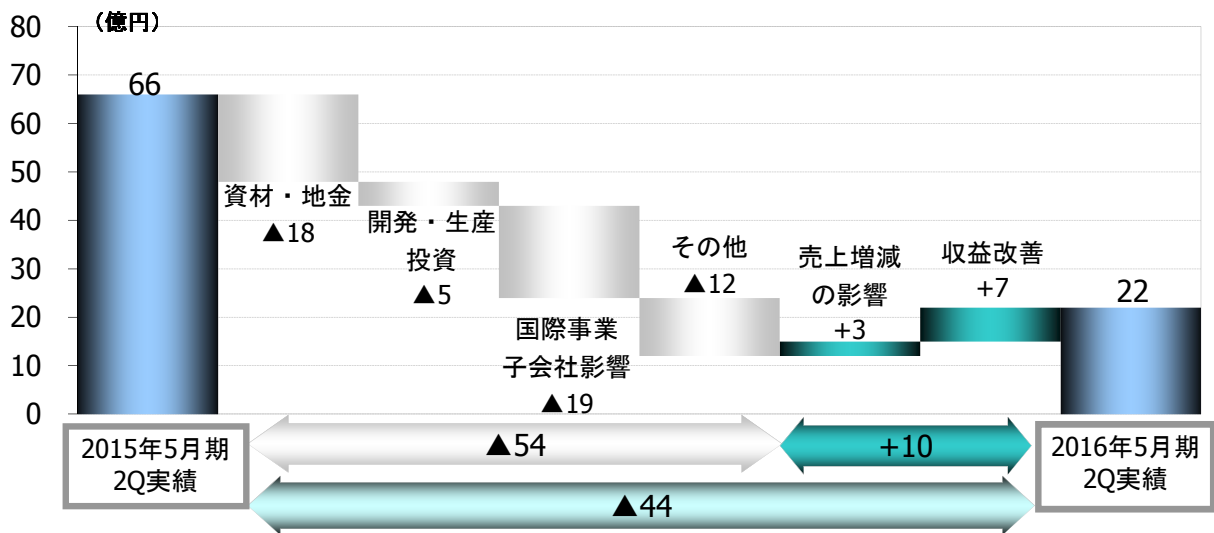


■営業利益

(単位：億円)



■営業利益 変動内訳

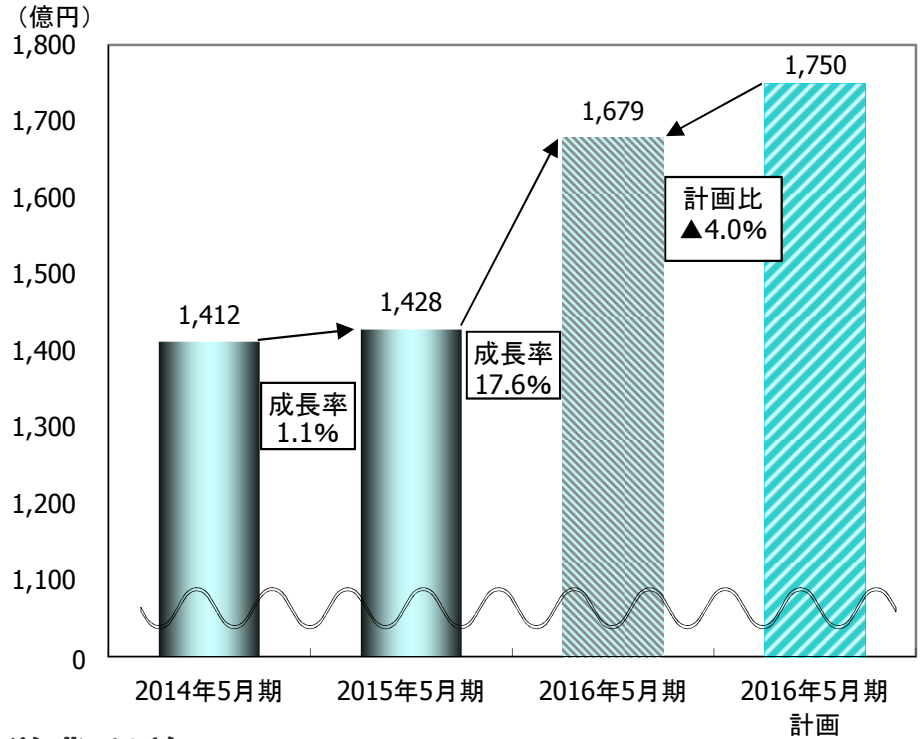


- 【内訳】 (億円)
- <国際事業子会社影響>
 - 為替影響 ▲1
 - 雇用調整 ▲7
 - 販管費その他 ▲6
 - のれん償却 ▲5
 - <その他>
 - 退職給付費用 +1
 - 棚卸評価差異 ▲1
 - のれん償却 ▲1
 - 販管費その他 ▲11

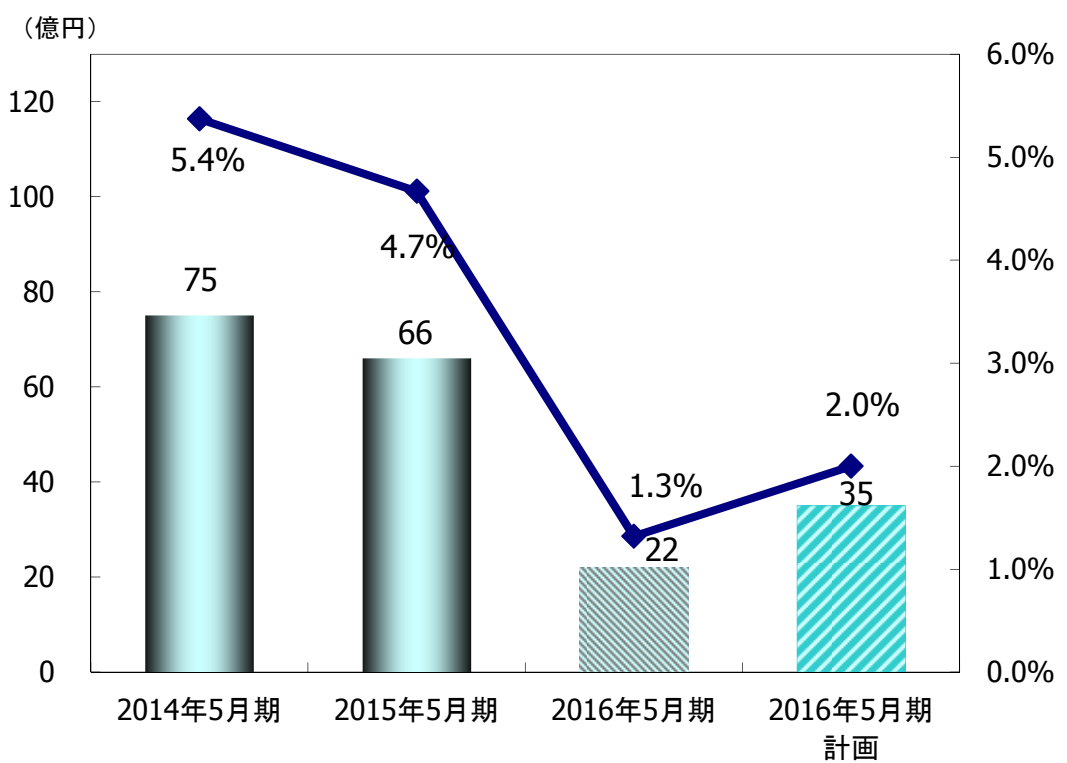
※金額は切り捨て表示

1-4. 2016年5月期2Q (期初計画比) 売上・営業利益

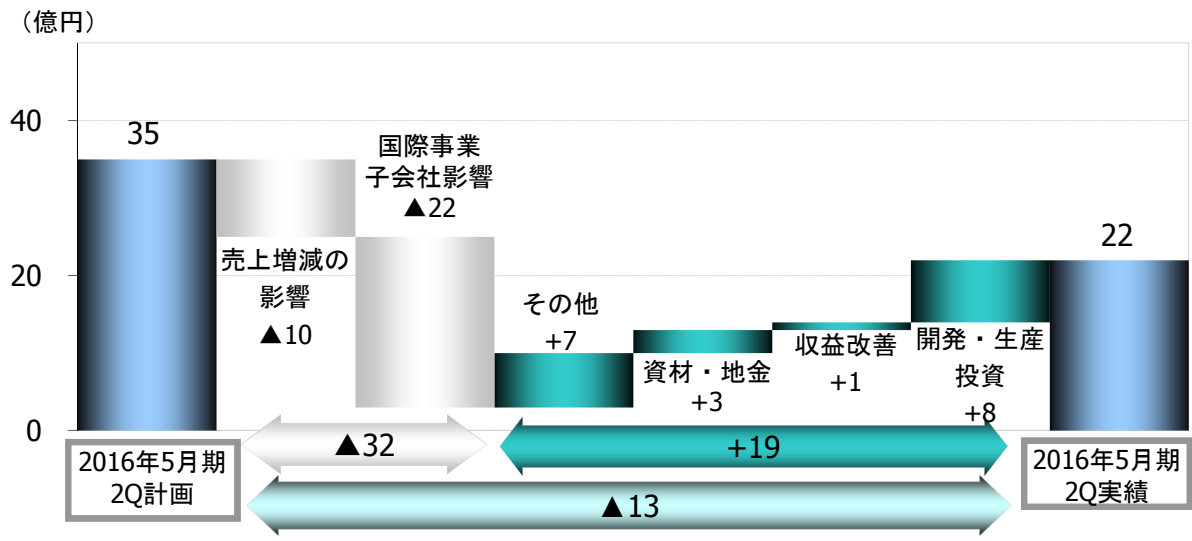
■売上高



■営業利益



■営業利益
変動内訳



- 【内訳】 (億円)
- <国際事業子会社影響>
 - 粗利低下 ▲13
 - 為替影響 ▲1
 - 雇用調整 ▲7
 - 販管費その他 ▲1
 - <その他>
 - 退職給付費用 +1
 - 棚卸評価差異 ▲3
 - 販管費その他 +9

※金額は切り捨て表示

1-5. 2016年5月期通期 業績予想の修正

(単位：億円)

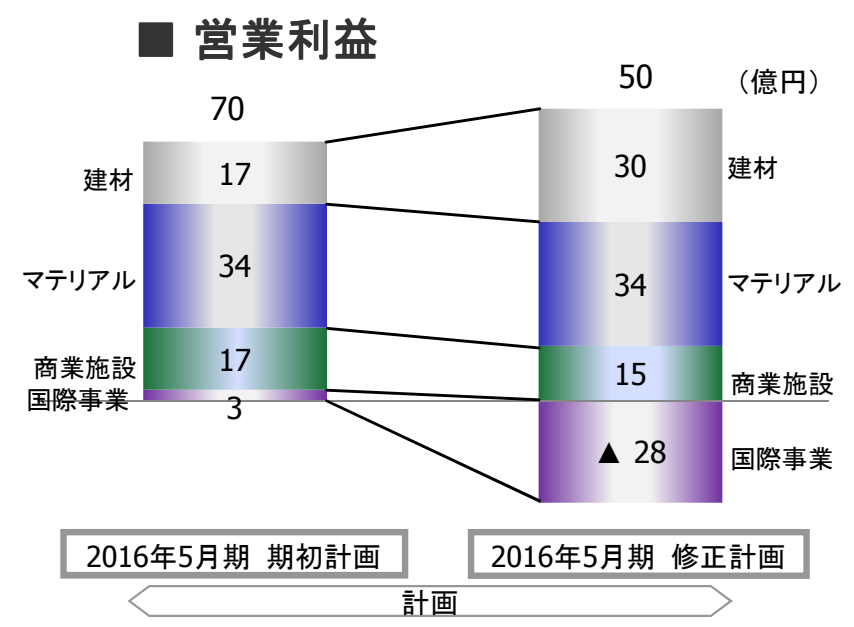
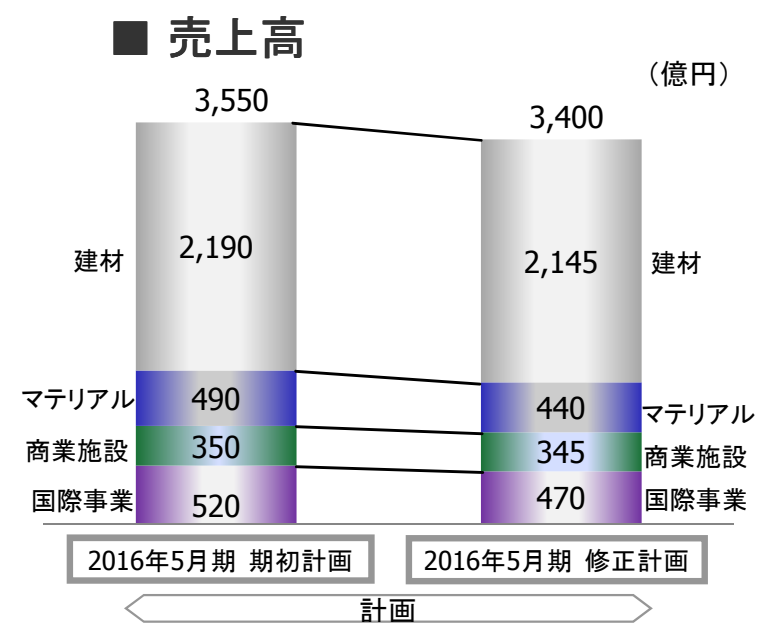
	2015年5月期 実績	2016年5月期 期初予想 (2015.7.10予想)	2016年5月期 業績予想 (2015.12.25予想)	前年比		期初予想比	
				増減	%	増減	%
売上高	2,923	3,550	3,400	▲ 476	16.3%	▲ 150	-4.2%
売上総利益	671	-	-	-	-	-	-
売上総利益率	23.0%	-	-	-	-	-	-
営業利益	85	70	50	▲ 35	-41.5%	▲ 20	-28.6%
営業利益率	2.9%	2.0%	1.5%	-	-1.5p	-	-0.5p
経常利益	79	60	40	▲ 39	-49.6%	▲ 20	-33.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	59	25	10	▲ 49	-83.2%	▲ 15	-60.0%

※金額・率は切り捨て表示

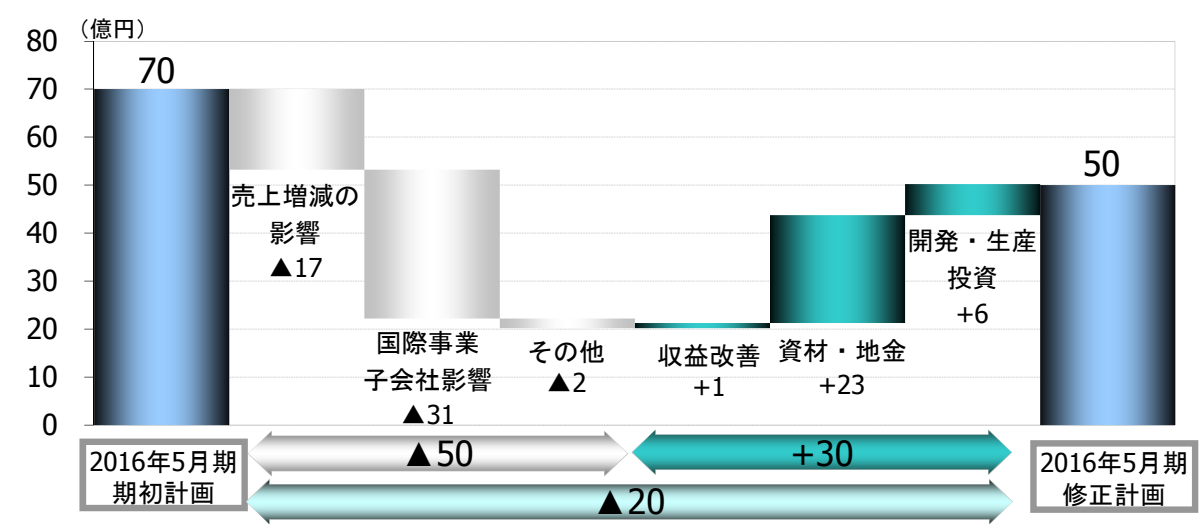
<修正理由>

欧州の景気停滞、タイの景気減速による海外子会社の売上、利益の減少や国内建材市場の競争激化による売上減少を踏まえて見直した結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を下回るものと見込まれ、業績予想を修正する。

1-5. 2016年5月期通期 業績予想の修正



■ 営業利益
変動内訳
＜期初計画比＞



【内訳】 (億円)
＜国際事業子会社影響＞
粗利低下 ▲ 24
為替影響 ▲ 1
雇用調整 ▲ 7
販管費その他 + 1

外部環境の変化に柔軟に対応する体制を構築するとともに、成長分野への展開と収益の向上を図る。
(期初計画の取り組みを変更なく推進)

セグメント	項目	概要
建材事業	販売基盤の強化	エリア戦略の推進と販売力の強化 競争力のある商品開発 (トピックス2-1, 2-2, 2-3, 2-9, 2-10参照)
	成長分野への攻勢	改装・リフォームの提案力強化、競争力のある商品化の推進 リフォームネットワークの強化
	原価低減の追求	外部環境に柔軟に対応する生産体制の構築、徹底した効率化によるコストダウンの推進、最適調達網の構築
マテリアル事業	各拠点の基盤整備と販路の構築	グローバルサプライヤーとしての基盤整備の推進 優位性のある技術と市場分野の効率的な融合推進 (トピックス2-5参照) 子会社の経営管理体制の強化
商業施設事業	事業領域の拡大と供給体制の強化	競争力のある開発・生産供給体制の構築 営業品質向上と顧客満足獲得による領域拡大 (トピックス2-6参照) 国内の技術を生かした中国・北米・ASEANへの販売拡大
国際事業	基盤整備	新たにグループ会社となった欧州及びタイ子会社のシナジー創出に向けた基盤整備 (トピックス2-7, 2-8参照)



ハイスベックサッシ
ALGEO
アルジオ

2-1. 三協アルミ 「アルジオ (ALGEO)」 10/30発売

新アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ (ALGEO)」 10月30日発売

——業界最高クラスの耐久性能と思いやり性能を実現

Toughness

厳しい環境に負けない強靱性能

雨・風に強い



水密性能 **W-5**

耐風圧性能 **S-4**

断熱性能 **H-6**



Kindness

お手入れ簡単
思いやり性能



フラット下枠

「フラット下枠」
と新色「アース
ブラウン」の
販売が好調



**GOOD DESIGN
AWARD 2015**

三協アルミは10月30日、住宅用基幹サッシ「アルジオ」を発売しました。
アルミと樹脂のメリットを生かし、高い断熱性はもちろん、昨今の異常気象や自然災害に備え、業界最高クラスの耐風圧性、水密性を実現。さらに開閉のし易さやお手入れのし易さなど、使う人への思いやり性能も実現しました。

「エネマネハウス2015」最優秀賞、優秀賞の作品に当社製品採用

——アルジオ、DI窓（アルジオ+プラメイクEⅡ）、スマート通風システム

10月17日～20日、10月30日～11月1日の計7日間にわたり、横浜市みなとみらい地区57街区にて開催された「エネマネハウス2015」にて受賞した芝浦工業大学（最優秀賞）と山口大学（優秀賞）の作品に当社製品が使用されました。

【最優秀賞】芝浦工業大学
作品名「継ぎの住处」



採用製品：
アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ」



【優秀賞】山口大学
作品名「やまぐちさんの
風の家」



採用製品：スマート通風システム（自動開閉窓）



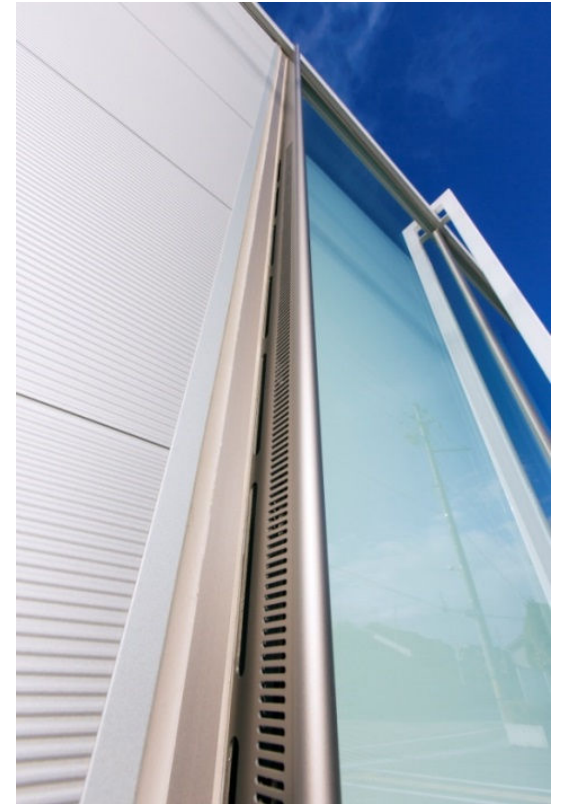
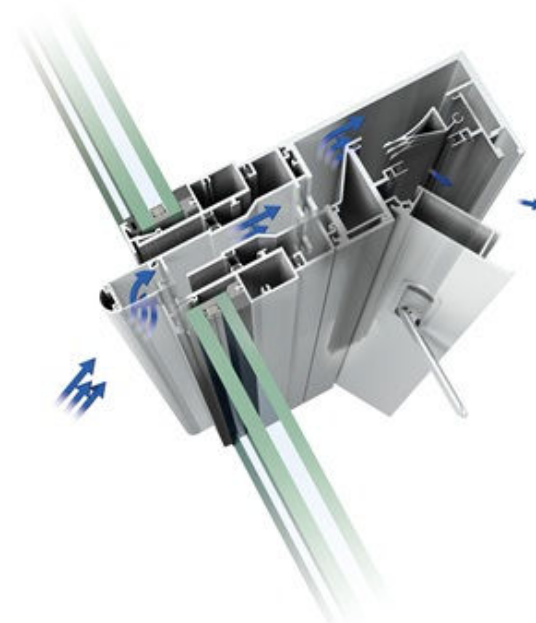
採用製品：
高断熱二重窓「DI窓」



◆「エネマネハウス2015」

経済産業資源エネルギー庁の実証事業の一環として、大学と企業が連携し“学生が考える、将来の家”をテーマに、各大学がモデルハウスを建築・展示するもの。今回で2回目の開催となり、期間中6,844名が来場しました。

自然換気システム「ARM-S@NAV」が
平成27年度 中部地方発明表彰「富山県知事賞」受賞
——建物の様々な条件下で自然の風を取り込む



◆自然換気システム「ARM-S@NAV」

「風をつかむ」「風の道をつくる」「風を制御する」といった独自技術の組み合わせにより、自然の風を建物に取り込み、「風力」や「重力」を利用して効果的な換気を行うことができる自然換気システムです。

<過去の受賞履歴>



「2014年度ドイツのIFデザイン賞
(主催：ドイツ・ハノーバー工業
デザイン協会)」受賞



「2012年度グッドデザイン金賞
(経済産業大臣賞)」受賞

「エクステリアデザインコンテスト2015」開催

——全国の販工店より約3,000点の応募、デザイン大賞など135点を決定



デザイン大賞



プランニング大賞

5月1日～7月20日、全国の販工店を対象とした「エクステリアデザインコンテスト2015」を実施しました。当社のエクステリア商品を用いた施工事例5部門と外構デザインのプランニング1部門をあわせた6部門で作品を募集。総数約3,000点の応募の中からデザイン大賞など135点を決定しました。

2-5. 三協マテリアル 植物工場ラック「アルファーム」 10/30発売

Life with Green Technology
環境技術でひらく、豊かな暮らし

アルミ製の植物工場ラック「アルファーム」を10月30日発売

——アルミによる軽量化と棚のユニット化により施工性向上



軽くて丈夫な
フレーム



取り外し可能な
配線カバー

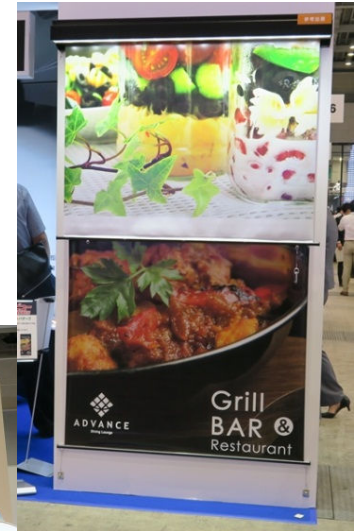
三協マテリアルは10月30日、完全人工型水耕栽培専用の植物工場ラック「アルファーム」を発売しました。市場のスチール製の植物ラックに比べ重量は1/3と軽量化を実現するとともに、棚のユニット化により施工性を向上しました。また、ラックの積載重量、取り付け方法や操作性、剛性など、お客様の要望に合わせたオーダーメイド製作も可能です。

2-6. タテヤマアドバンス 「サイン&ディスプレイショウ」に出展

「第57回 サイン&ディスプレイショウ」に出展

——大型ブースで新商品「アドビューアッパー」などを展示

タテヤマアドバンス設立後、毎年出展しており今回で10回目の出展。2015年9月に発売した外照式サイン用LED電装ユニット「アドビューアッパー」をメインに、薄型内照式LEDサイン「ポスタンド」や「アドパック」、また参考展示として、アドビューとロールスクリーンの一体構造の「アドビューバナー（仮称）」など多数商品を展示しました。



◆サイン&ディスプレイショウ

サイン・ディスプレイの製作、施工に必要な資材、素材および加工機器などの関連商品全般や最新技術などが一堂に出展する業界最大の展示会。各社製品の情報提供・認知の場として毎年開催されています。今回は138社が出展し、3日間で約30,000人が来場しました。

タイの工業団地にて「三協立山アロイタイランド」の新工場が竣工

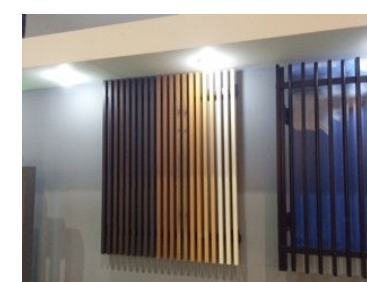
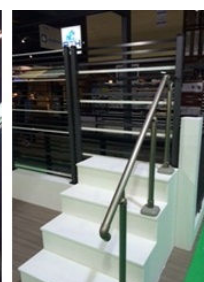
——新工場は2016年4月より量産スタート



10月29日、タイ王国プラチンブリ県ロジャナプラチンブリ工業団地にて、三協立山アロイタイランドの新工場が竣工しました。建築竣工式には、関係者約40人が出席し、バラモン教、仏教にのっとり厳かに式典が執り行われました。新工場は昨年中に試験運転を開始し、2016年4月より量産開始を予定しています。

タイの展示会「バーン レ スァン フェア (Baan Lae Suan Fair) 2015」 タイメタルのブースを通じてエクステリア商品を出展

——「サイドーレR」「メイクスクリーンⅡ」など



10月31日～11月8日までの9日間、タイ・バンコク近郊のIMPACT Challenger Hallにて開催された展示会「Baan Lae Suan Fair 2015」において、タイメタルのブースを通じ「サイドーレR」や「メイクスクリーンⅡ」などの三協アルミ商品を出展しました。タイメタルは現地で「ALNEX」というブランドを展開しています。

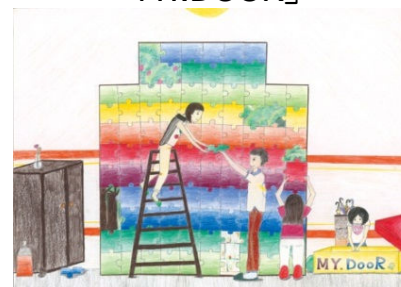
「未来のとびらコンテスト＜小学生版＞2015」表彰式・金賞受賞ツアー開催 ——「三協立山オリジナル・アルミ製ドラえもんメダル」贈呈



東京ステーションホテルでの表彰式の様子

メダルを贈呈

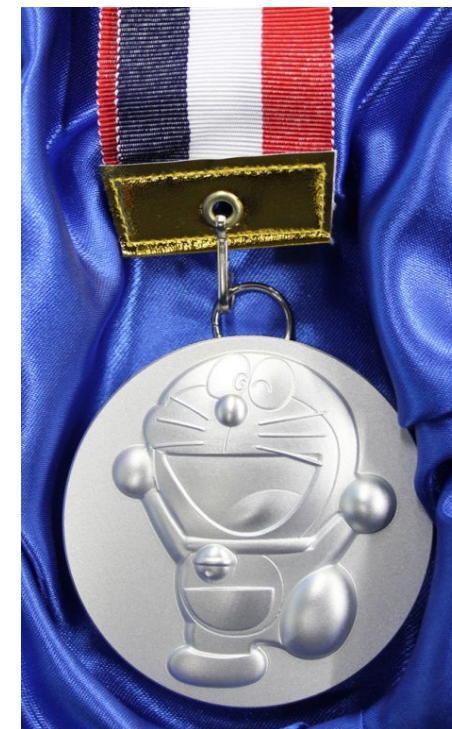
4～6年生の部 金賞
「MY.DOOR」



受賞作品のいくつか



1～3年生の部 金賞
「マジックドア」



「三協立山オリジナル
アルミ製ドラえもんメダル」

昨年に引き続き、全国の小学生を対象にした「未来のとびらコンテスト＜小学生版＞2015」を開催しました。今年度は新たな取り組みとして、三協立山オリジナルのアルミ製ドラえもんメダルを製作し、金賞、銀賞、特別賞の受賞者16名全員に贈呈しました。また、金賞受賞者とそのご家族を10月31日～11月1日、受賞ツアーにご招待。当社が復原工事で全窓を担当した東京ステーションホテルにて表彰式が行われました。

「未来のとびらコンテスト〈大学生版〉」第1回学生デザインコンペ

—— 12月18日 高岡ショウルームにて表彰式を開催

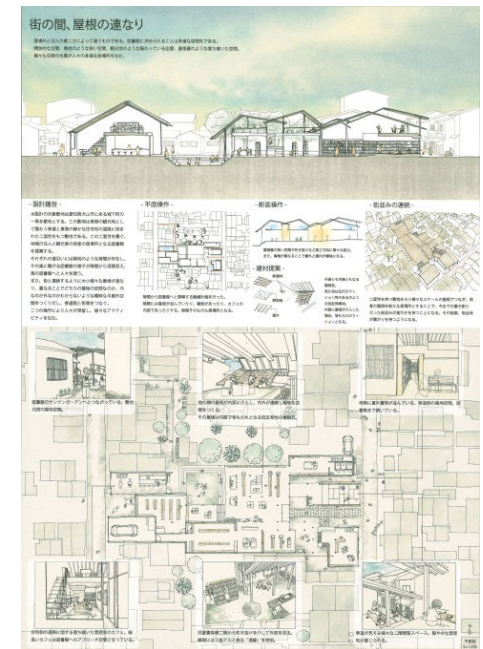


個人住宅部門
「ずっといたくなる家」



最優秀賞「外気を設える家」

ビル・公共部門
「ずっといたくなる図書館」



最優秀賞「街の間、屋根の連なり」

昨年より全国の小学生を対象に開催している「未来のとびらコンテスト」の大学生版として、建築やデザインを学ぶ学生を対象としたデザインコンペを開催しました。審査委員長には建築家として国内外でご活躍されている西沢立衛先生をお迎えし、個人住宅部門『ずっといたくなる家』、ビル・公共部門『ずっといたくなる図書館』をテーマに全国より計152点の応募がありました。各部門の最優秀賞、優秀賞、建材提案賞の15名（8作品）を招待し、12月18日～19日に受賞ツアーを開催。高岡ショウルーム（富山県高岡市）にて表彰式を行いました。

「ツインリーフの森づくり<第8回>」 植樹活動を実施

——高岡市と締結した「企業の森づくり」へ参画



一昨年、昨年に引き続き、今年も苗木500本を植樹。

林内歩道への植樹（3年間で合計1,500本）が完成。

社員とその家族ら105名がボランティアで参加。

◆ツインリーフの森づくり

2013年4月に高岡市と締結した「企業の森づくり」の一環として、とやま・ふくおか家族旅行村（富山県高岡市）の山林に毎年500本程度の苗木を5年間植樹。その後10年間維持管理を継続し、計15年で約2,500本の苗木の育成を目指します。

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社(以下、総称して「三協立山グループ」という)の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点での入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。